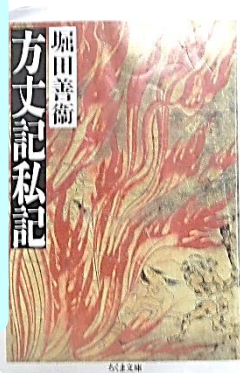


これからのことを…4の(16)

● 方丈記を読んで(3)



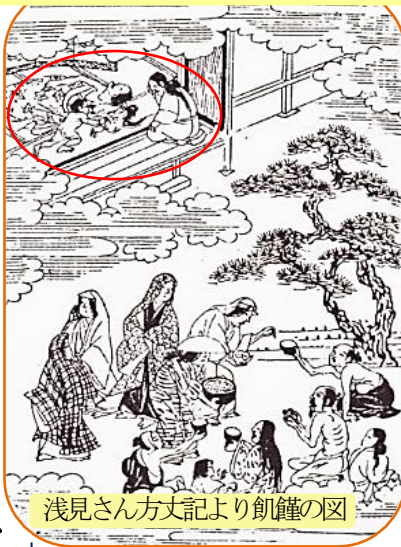
方丈記の存在 が大きき力に

今回は堀田善衛の「方丈記私記」のことを書きました。方丈記に書かれた五大災厄の

具体的な事柄一つが自分の経験したことと重なり、うんうんって。そして自分に寄り添ってくれると言います。日本の文学史上、災害を正面から取り上げた初めての作品で、多くの人に力を与えてきたんだと思います。

孫が生まれて

この続きを書こうと思っている最中に娘に二人目の子どもが生まれ、まるごと館たよりはストップしてしまいました。本も読めないし、今までの自分の時間というものが確保できませんでした。そこで、この間赤ん坊や



浅見さん方丈記より飢饉の図

2歳になったばかりの孫に接する中で頭に浮かんだことを書きます。

我が子が小さい時のことは余裕がなく、ほとんど覚えて

いませんでしたから、今回寝る間もない50日間でしたが、新鮮な気持ちになることが出来ました。

母の命尽きたるを知らずして、

『いとけなき子の、なほ乳を吸ひつつ、ふせるなどもありけり』

方丈記の養和の飢饉の所。お腹が減って夜中に泣いて目を覚ます孫を抱っ

こしている時、この部分がよく思い浮かんできました。

もう母親が亡くなっているにもかかわらず、お乳を欲しがって吸い付いている

赤児。もしかすると孫のように泣く元気はなかったかもしれません。この時は沢山の人が飢餓で苦しんでいました。生まれた赤ん坊が道端に捨てられ、死骸が町中に溢れている状態だったのです。

原因は天候の不順だけではなく、長期に続く源平の争乱が背景にある中でのこと、田畑は荒れて収穫どころではなかったんです。そんな場面は日本の歴史上、何度もみられます。多くの人がそんな時代を生きて来られた。世界の中では今でも。また、このコロナ禍でも似た状況が見られます。

「方丈記私記」から少し

戦時中の混乱期に目撃したことだそう。セーラー服にモンペ姿の小さい女学生が大八車に乗せたピアノに、「150円で買って下さい」という札をぶら下げ、立っていたそうです。

当時150円といえば、酒1升、米5升か1斗というばかげた値段で、おそらく疎開するのに泣く泣く処分することになったのではないかと。その時、方丈記の『あやしき事は、薪の中に、赤き丹着き、箔など所々に見ゆる木、～古寺に至りて仏を盗み～』を衝撃的に思い出したと言います。食べ物や木材が極度に不足して古寺に入り仏像を解体し、それを売っていた。「仏を盗んだ」ことではなく、そのあわれさで

つながる所があったのでしょうか。長明さんだつてこの状況を嘆いていましたが、その人を責める文言はなかったです。

愛しいという気持ち

私が初めての出産で山陰の実家に帰り、生まれて1か月半後に夫が車で迎えに。母は仕事から帰ると孫をお風呂に入れてくれました。そんなことを細かく思い出しました。40年以上も前の話です。今回私にはとてもハードな日々だったので、娘たちが帰るとほっとしたのに、孫が泣いているのではないとか随分気になりました。母も当時同じように思っていたとはっきりわかりました。そんな気持ちに包まれてここまで来たんですね。今は亡き母のありがたみをひしひしと感じています。

方丈記の飢饉の一節に、手に入れたちよつとの食べ物を愛する人に譲る、譲った人は先に亡くなる、相手を大事に思うから、とあります。

実際にそういう経験はしていませんが、その気持ちは想像することが出来ます。この“愛しい”という気持ちはそれくらいの力を発揮する源ではないかと、この間思いました。時間が経っても忘れませんし、人を支えてくれるものです。

赤ん坊を残して亡くなった母親の気持ちをつくづくと思えます。今の時代にはあつてはならないことですが。

八幡まるごと館だより

2021年11月7日/143号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

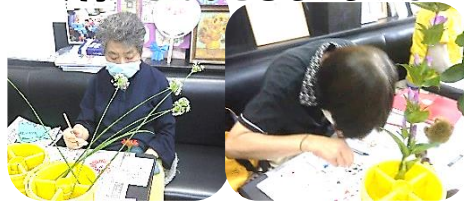
ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

＜9月にこんなことをしました＞



絵手紙講習会



下さって少人数ながら、「皆がいたらもっと楽しいのになあ」と言いながら描いていました。もう1年以上来ておられない方もおられます。過去の多い時で24人参加ということもあり、場所の確保に苦勞していました。そういうことをつい思い出してしまう日々です。

8日 参加者は5人でした。野菜生産者の方々から花や栗やイチジク等を提供していただきました。講師の森本玲子さんはリンドウや立派なユリの花を持って来て

オカリナひまわり



アハアとお疲れのご様子でした。でもこうやって、この時を過ごしてきたというのも後で思い返す時が来るんでしょうね。大切に。オカリナを始めて6年経ち、楽譜をみたら指は動くようになりました。あとは音の長さや曲の速さを皆で共有できるようにしたら完璧にと言った言い過ぎでしょうか。初めは一步一步という感じでした。だから途中で入られた方には進んでいる状態での参加でちょっと苦しかったのではないかと。

13日 本当に少人数での練習をしました。練習内容は毎回ほぼ同じですが、前奏を吹く順番が早くめぐってくるので、皆さんハ

理科の実験



24日 ポップアートカードを再度。以前数回していただいたものは球形でしたが、今回は吊り下げて、置いてもいいものです。折りたたんで平面にもできます。木下章司さんは色々用意して下さって、その中から選んでカッターやハサミで切り取って作りました。組み立てが少し難し



くて苦勞しました。宮地さんも来て



下さって、上手に作られていました。多様な内容を用意してくださって感謝しています。



＜10月にこんなことをしました＞

絵手紙講習会



13日 9月より参加者が増えました。ちょっと落ち着いてきたからでしょうか。安心して出来るまでにはもう少し時間が。講師

の森本玲子さんはお忙しく動かれて、お世話になっています。野菜生産者の方々から稲、柿、コスモス等を持って来ていただきました。

オカリナひまわり



25日 この日は久しぶりに15の方が参加されました。皆で練習できるのは楽しいですね。ずっと同じ練習方法で丸6年ききましたが、少し工夫がいるのかもしれないと祈って。

てきたと思います。コンサートができることを祈って。

ん。色々ご意見をいただけたら嬉しいです。素人ばかりでよく続い

パッチワーク講習会



気強く教えていた

14日21日28日 と3日間かけて取り組みました。講師の西角千代子さんや前川和子さんには随分お世話になりました。何も知らない者が多く戸惑われたと思います。でも、根

だき、いいポシェットが出来上がりました。ありがとうございました。

八幡まるごと館 11月・12月の予定

休館12月5日(日)
12月27日(月)~1月7日(金)

＜パソコン教室＞	毎週月曜日 10時～12時です
11月1日(月)10時～12時	パソコンを持って来て下さい。費用 300円(コーヒーつき)
＜オカリナクラブ ひまわり＞	楽しめる時。22日は休みます
11月1日(月)13時30分～	参加費100円 練習開始は1時30分です 練習日は月曜日
＜歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N031＞	わかり次第連絡いたします
11月4日(木)3時30分～	講師出口修さん 参加費100円 月1回です
＜絵手紙講習会＞	
11月10日(水)午後1時30分～	講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき) 次回は12月8日(水)です
＜楽しい理科の実験 N041 わたあめに変更です＞	持ち物 なし
11月26日(金)13時30分～	講師木下章司さん 参加費300円(コーヒーつき)
＜クリスマスリース＞	10名までです。
12月1日(水)13時30分～	ハサミ、お持ち帰りの袋 参加費500円
＜歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N032＞	わかり次第連絡いたします
12月9日(木)13時30分～	講師出口修さん 参加費100円 月1回です
＜今年度最終野菜市＆＞	
12月26日(日)	食事はしません
12月26日(土)9時～	お正月用野菜販売 今年はこの日で終わりです

＜あなご・ごんご＞

中々書けませんでした。今やっとなんて普通段の貯えがなく、思いついた事ばかりです。まるごと館たよりはま

だかと言って下さる方が何人もおられ、それがこれを書く源に。ありがとうございます。(うえたに じゅんこ)